

<令和元年度 医療情報の理解促進に関する研修会>

ヘルスリテラシー向上のために医療従事者ができること ～適切な情報提供のあり方を考える～

東京都では、患者の主体的な選択・判断のもととなる医療に関する理解を促進し、また、患者と医療従事者とのより良い関係づくりを進めるため、様々な取組を行っています。

この度、業務や事業を通じて、都民の医療に関する情報の理解を促す機会を持つ関係機関の職員を対象とした研修会を開催し、患者や患者家族と医療従事者とのかかわり方についてご紹介いたします。多数の方々のご参加をお待ちしています。

開催日時：令和2年2月13日(木曜日) 午後3時～午後5時

(受付 午後2時30分から)

場所：東京都議会議事堂 都民ホール(東京都新宿区西新宿 2-8-1)

講師：聖路加国際大学大学院
看護学研究科 教授 中山和弘氏

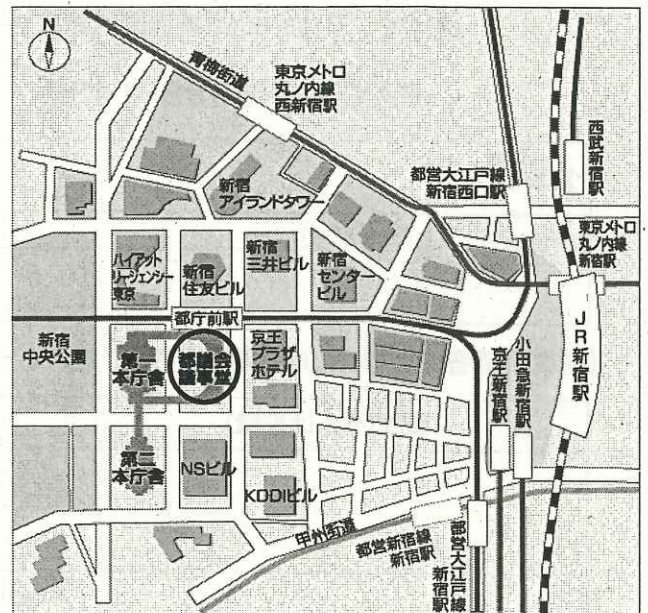
プログラム：裏面プログラムをご参照ください。

参加対象：都内医療機関従事者・区市町村職員等

定員：250名(参加費無料・先着順)

申込期限：令和2年2月6日(木曜日)

申込方法：裏面の申込書に記載の上、
郵送又はファクシミリにて
お送りください。



JR「新宿駅」西口から徒歩約10分、都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」すぐ

※参加決定の連絡はいたしません。
応募多数で調整が必要な場合のみ連絡します。

<事務局>

東京都福祉保健局医療政策部 医療政策課 医療改革推進担当

主催  東京都

<令和元年度 医療情報の理解促進に関する研修会>
ヘルスリテラシー向上のために医療従事者ができること
～適切な情報提供のあり方を考える～

≪プログラム≫ 日時:令和2年2月13日(木曜日) 場所:東京都議会議事堂 都民ホール

15:00	I 開会 「東京都における医療情報の理解促進に向けた取組」 東京都福祉保健局医療政策部医療政策課(都事務局)
15:10	II 講演 「ヘルスリテラシー向上のために医療従事者ができること ～適切な情報提供のあり方を考える～」 講師 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授 中山和弘氏 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>「医療情報を理解・活用できる力」である「ヘルスリテラシー」の重要性が増している中、患者さんの「ヘルスリテラシー」を医療従事者が理解し、その向上を支援し、それに合わせて医療を提供する関係を築くことが、医療従事者に求められる新たな課題となりつつあります。</p> <p>氾濫する医療情報の中から、患者さんの意思決定に必要な情報を適切に伝え、よりよい意思決定につなげるにはどのように支援すればよいのか、患者さんの「ヘルスリテラシー」に配慮した対応方法について、御講演をいただきます。</p> </div>
16:40	III 質疑応答
16:55	IV 閉会

受講申込書

※記入後、郵送又はファクシミリで送信願います。(送付状は添付しないでください。)

送付先 〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 福祉保健局医療政策部医療政策課 上原 行

FAX 03-5388-1436 【締切:令和2年2月6日(木曜日)】

施設名:	所属:
担当者名: (ふりがな)	電話:

(受講希望者の職種または役職、氏名をご記入ください。)

職種(または役職)	氏名
	(ふりがな)
	(ふりがな)

上記の講師にお聞きになりたいことがありましたらご記入下さい。